

就任挨拶

町田国際交流センターボランティア会員の皆様



一般財団法人町田市文化・国際交流財団
理事長 高橋 豊

去る6月29日(火)に開催された一般財団法人町田市文化・国際交流財団の理事会におきまして、理事長を拝命いたしました高橋豊でございます。

町田国際交流センターは、1998年に設立された町田国際交流協会に端を発して以来、「文化の薫り高く国際感覚豊かなまちづくり」に貢献するため、町田市と協力して活動しております。活動目的といたしましては、地域に居住する外国人住民との友好親善の絆を深め、地域の一員として日本人と外国人とが分け隔てなく暮らす多文化共生社会の実現を目指すことでございます。

ボランティア会員の皆様には、活動の中心的存在としてご活躍いただいております。改めて感謝申し上げます。今後も、更に活動の輪を広げていただき、外国人住民にとって真に住みよいまちづくりを共に進めていきたいと思っております。

町田市における外国人の住民登録者数は、年々増加の一途をたどり、2021年7月1日現在、7,000人を超えています。今まで以上に外国人の方々の支援・交流活動等が必要となっている一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア活動が大きく制約を受けています。このような状況下にはありますが、知恵を集め、工夫して活動を続けてまいりたいと考えております。

ボランティア会員の皆様と連携しながら、職員一丸となって町田国際交流センターの発展に寄与できるよう取り組んでまいります。今後ともより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ぼろんていえ

Volontiers! の由来：誘われたとき、頼まれたとき「喜んで!」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで



コロナ禍での国際交流センター ボランティアとしての想い

私と国際交流センターとの付き合いは今から5年前の2016年度に始まります。それまで趣味で3年間ほど民間で韓国語を勉強していたのですが、一緒に学習していた知人が国際交流センターの韓国語講座初級のコーディネーターをされており、その知人から「後をついでやってもらえないか」と頼まれたのがきっかけでした。

2016年度は韓国語初級、2017年度からは韓国語入門・初級のコーディネーターをしています。国際交流センターの目的の一つである、異文化理解についても「韓国語の歌」「ユンノリ遊び（日本のすごろくに似た韓国伝統遊び）」などをしてしていますが、一番盛り上がるのは「韓国料理」です。韓国語を学習している方の80%は女性で料理好きで、毎回楽しく和やかに実施しています。

また、2017年度・2018年度は、「外国語部会」の副部長、2019年度は部長として連絡調整委員会に出席しており、あと一年は部長をする予定です。

コロナ禍により、昨年度及び今年度の「外国語部会」は休止を余儀なくされました。来年度には講習室定員36名が埋まり三密でも問題なく外国語の授業が再開できること、そして韓国語のコーディネーターとして、韓国語の授業が楽しく実施できることを切に願っています。

外国語部会 佐藤 佳則

東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されています。この時期に関わらず国境を越えて全力を尽くしているアスリート、特に10代の選手の活躍に胸が熱くなります。暑い毎日ですが、大会関係でボランティアをしている方々は素晴らしいと思います。

国際交流センターでは「町田発国際ボランティア祭 夢広場」を毎年開催して22回続けてきました。昨年は残念ながら何もかも自粛となり、この先はどうなるか…と不安にもなっていますが、今年は11月3日に「ぼっぼ町田」で密にならない工夫をして開催したいと、運営委員会の皆さんとSNSで連絡を取り合いながら検討中です。

今迄の事を振り返ってみる時間的な余裕も出てきて、ボランティアをされていて良かった事ばかりが頭に浮かんできます。それは「人との出会い」です。日常生活の中ではおそらくお会いすることがなかった方々と「袖すり合うも多少の縁」と言いますから、そのNPOの資料を読んだり、facebookを拝見したりしています。

町田市は2020南アフリカ・インドネシアのホストタウンです！

「夢広場」にて南アフリカに関して2年前にNPO法人アフリカ日本協議会の津山理事と交流する機会がありました。「町田市ホストタウン盛り上げ大作戦」の企画の中、都立町田総合高校の華道部の生徒さんに津山さんをご紹介することが出来ました。早速zoomにて高校生に南アフリカの現状を講演していただく事が出来て、若々しい感性にしっかりと残る内容になりました。海外にも気軽に行くことが出来ない時期ですが、町田にいなが私達も南アフリカに旅したような気分になりました。

20年以上ボランティアを続けていたことにより「人との出会い」が有意義な事であったと実感しています。次へのステップアップを視野に入れて柔軟に楽しく行動したいと思います。

国際理解・協力部会 山口美知子

町田市文化プログラム
Machida Cultural Program

南アフリカ・インドネシアと繋がって輪になろう！シリーズ
ホストタウン盛り上げ大作戦

「南アフリカ・インドネシアと繋がって 輪になろう！シリーズ」に参加して

町田市がオリンピック・パラリンピックのホストタウンとなっている南アフリカ、インドネシアを紹介する「南アフリカ・インドネシアと繋がって輪になろう！シリーズ」のイベントが7月8月に町田市民ホール・和光大学ポプリホール鶴川で開催されました。その中から7月25日に町田市民ホールでの催しに参加しました。ホールでは「劇場版 ダーウィンが来た！ アフリカ新伝説」が上映されました。ホール前ではNPO法人ジャパンワイルドライフセンターの活動紹介展示や南アフリカ原産の花を使ったネイティブのフラワーアレンジメントが多く飾られていました。両国関連のワークショップも開催されており、インドネシアの打楽器「アングルン」を一人一音、手にもって色々な曲を全員で奏でました。子供たちは実際に楽器に触れ演奏に参加することができとても楽しそうでした。ワークショップ「おシャレ図鑑」は南アフリカの説明を聴きながらシャレの中に切手やコイン、ペンギンの羽などを貼りつけ自分だけの小さな南アフリカ図鑑を作っていました。市民ホールいっぱいに両国の雰囲気があふれていました。

今後オリンピック・パラリンピック終了後も町田市との友好関係が続いていくことでしょう。



ネイティブフラワーアレンジメント展示



JWC活動紹介



ワークショップ「おシャレ図鑑」



ワークショップ「アングルン」



しょうがい がくしゅう

生涯学習センター

「おとなのまなびテラス」で まな 学びなおしてみませんか？

せい かつ つか も じ よ か けい さん こ
生活で使う文字の読み書きや計算で困っていませんか？

しょう ちゅう がっ こう てい ど がく りょく み かた む りょう がくしゅうかい
小・中学校程度の学力を身につけたい方の、無料学習会です。

き がる さん か し えん しゃ ぼ しゅうちゅう
お気軽にご参加ください。支援者（ボランティアスタッフ）も募集中です。

けん がく たい けん
見学・体験もできます。

またお知り合いにこのような学習を必要としている方がいたら、知らせてあげてください。

たい しょう
対 象
にち じ げん そく
日時（原則）

さい い じょう かた
16歳以上の方

まい しゅうきん よう び ご ご じ ご ご じ ご ご じ
毎週金曜日、午後2時～午後4時と午後6時～8時

やす じ ぜん しょうがい がくしゅう
お休みすることがあるので、事前に生涯学習センター

まなびテラス担当

(Tel: 042-728-0071) までご連絡ください。

かい じょう
会 場
さん か ひ
参 加 費

しょうがい がくしゅう かい ちょう り じっしゅうしつ
生涯学習センター6階 調理実習室

む りょう
無料



もうしこみ とい あわ
申込・問合せ

町田市生涯学習センター

〒194-0013 町田市原町田6-8-1 TEL 042-728-0071 FAX 042-728-0073

休館日 毎月第4月曜日（祝日の場合は翌日）および年末年始（12月29日～1月3日）

編集後記

ようやく秋という季節になりました。まだまだ暑い日が続きますが、朝夕には涼しさが感じられるようになってきました。

今年の最大のイベントである「オリパラ」も終わり、世間ではCOVID19デルタタイプの話が満ちあふれ、ボランティアの世界も相変わらず制約を受け、活動が制限され続けています。本来なら、夏休みの子供向けの様々なイベントなどでにぎわうセンターもひっそりとしていました。こんな時こそ国際交流センターのボランティアの方々がどのような活動で乗りきったかを、聞かせていただく時でもあります。

また8月1日付の町田国際交流センターニュースで提案された「MICの国際交流部会の活動に参加してみませんか」という町田市及び近隣に住む外国人に対する呼びかけに、多くの参加者が応じてくださることを願っています。